

東建パブリニュース

平成27年3月11日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成27年3月10日 中日新聞 P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポレーション(名古屋)がゴルフ・リゾート事業を拡大する。法人や富裕層を狙って三重県桑名市の「ホテル多度温泉」に会員制リゾートホテルを増築工事中で、三月中旬に会員権の販売を始める。左右田社長は本紙のインタビューに「あえて販売戸数を十三室に限定した。ゴルフを楽しみながら優雅な時間を過ごしていただきたい」と語った。

(山上隆之)

東建コーポ 左右田社長

ホテル多度温泉は、ゴルフ会社が運営するゴルフ場「東建多度カントリークラブ・名古屋」で温泉掘削に成功し、クラブハウスを一部改装するなどして設け

た宿泊施設。新たに会員制リゾートホテルとなる新館(地上八階建て)も昨年九月に着工、今年九月の完成を予定している。「少人数で部屋を共有す

る米ハワイの高級コンドミニアムを、日本で具現化するための実験」(左右田社長)と位置付け、時間分割による「タイムシェアリング方式」を採用したのが特

徴。一室を十二人相当の会員で分け合い、一口当たり年間三十日宿泊できる。左右田社長は次の段階として、グループのもう一つのゴルフ場「東建塩河カントリー倶楽部」(岐阜県可児市)にもホテルを建設したい、と意欲的。さらに「いずれは愛知県内の一流ゴルフ場を買収し、一つの会員権で利用できるゴルフ場を東海三県三万所に増やしたい」との構想も披露した。



●今後のリゾート事業について話す左右田社長＝三重県桑名市で
①東建コーポレーションがホテル多度温泉に増築中の新館の完成イメージ図

